



校長通信

令和4年度22号 令和4年12月5日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《第2回学校運営協議会を実施しました》

12月2日（金）第2回河北中学校の学校運営協議会を実施し、今年度の河北中学校の教育実践の途中経過報告を行いました。委員の皆様からは、学校のこれまでの取組に関して、一定の評価をいただきながらも、よりよい教育実践のために、小学校の授業実践を把握すること、タブレットの効果的な活用を促進すること、先見の目をもって、現状の生徒に必要な資質・能力を見極め、それらをもつための更なる工夫を期待するなど、ご意見、ご感想をいただきました。

2月下旬に、第3回学校運営協議会を開催し、今年度の学校の取組に関する自己評価を示し、それを元に学校関係者評価を行っていただく予定になっています。

※学校運営協議会が、どのような協議会なのか、ご存知ない方は、校長通信第4号をご参照ください。

《河北地区子どもを育てる協議会の「教育講演会」が開催されました》

前号で紹介しました「教育講演会」が、去る12月2日開催され、協議会の会員さんをはじめ、本校を含め、校区内小学校の教職員、育友会員の方々が出席し、熱心に講師先生のお話に耳を傾けていました。今回の講師、「いのちの講演家」岩崎順子さんは、娘さんが小学校六年生の時、難病を煩い、長期に渡り、県立医科大学付属病院に入院された経験から、子供に寄り添うことの大切さ、命を授かっている事のありがたさを心の底から語りかてくれました。現在、娘さんは、テレビレポーター、ラジオパーソナリティ、イベント司会などで活躍されています。演題の「つらかった時間は、いつか宝の時間になる」の本当の意味が、お話を聞いていてわかったような気がしました。

岩崎さんは、翌日、奈良県の大和郡山市で講演されるということで、当初は大和郡山市に前泊される予定だったのですが、河北地区子どもを育てる協議会「教育講演会」のため、前泊をキャンセルして、お話をしてくれました。ありがとうございました。また、お忙しい中、講演会に参加された方々、お疲れ様でした。

《楽しかった！育友会懇親バグゴ大会》

11月20日（日）育友会保健体育部が中心となって、育友会懇親バグゴ大会が、本校体育館で開催されました。例年、地区対抗のソフトバレーボール大会が実施されていましたが、3年前からコロナで中止されていましたが、マスクをしてもできる安全な競技ということで、今年度、感染症対策をしながら、バグゴ大会が開催され、私も参加させていただきました。



ボードの穴を目がけて、お手玉のようなバッグを投げて点を競い合うという、ルールはいたってシンプルな競技ですが、バッグがボードにはじかれて、ねらったようにならず、悪戦苦闘しながらプレーしました。競技の方法は、色々あるようですが、今回は、二人一組でチームを組んで、リーグ戦で試合を行いました。閉会式では、上位3チームに、会長から賞状が授与されました。

参加者の方々の一挙手一投足に一喜一憂しながら、本当に楽しいひとときを過ごすことができました。出席された会員の方々の結束力が高まったのではないのでしょうか。会長さん、保健体育部長さんを始め、準備等、ご協力いただいた育友会の方々、ご苦労様でした。